

精神病院法案外二件特別委員會會議事速記録第二號

大正八年三月十日午後二時二十九分開會

○委員長(侯爵花山院親家君) 是ヨリ開會イタシマス、ト
ラホームノ豫防法案、政府委員ノ御説明ヲ讀ヒマシテ、ソレ
カラ全部ノ質門ニ移リタイト思ヒマス

○政府委員(杉山四郎君) 本法案提出ノ理由ハ本會
議ノ際ニ於キマシテ當省大臣ヨリ説明ガアリマシタ、私ハ此
場合ソレニ一言附加ヘテ御説明ヲ申シタイト存ジマス、此
「トラホーム」ノ我々同胞ヲ侵シテ居リマスルコトノ猖獗ナル
コトハ實ハ驚クノ外ハアリマセヌノデ、寧ろ實數ヲ一々届出
デシムルト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、徵兵検査ノ際ニ
於キマスル率ヲ以テ之ヲ推算イタシマス、先ヅ一千
萬人ト云フヤウナ驚クベキ「トラホーム」ノ患者ヲ推算シ得ル
ノデアリマス、デ之ガ爲ニ産業ニ及ボシマシタル所ノ惡影響
又學校等ニ於キマシテ此爲ニ生徒ノ兒童ノ蒙リマシタル所
ノ惡影響、謂ハル教育上ニ於キマシテ重要ナル關係ヲ有
テ居リマス、又段々此最近二三ヶ年ハ陸海軍ノ徵兵ノ際
ニ減リツ、來テ居リマスルナレドモ、此「トラホーム」ノ爲ニ壯
丁ノ検査ノ際ニ不合格ニナル者ガナカ、多イデアリマ
ス、是亦國防ノ上ニ於キマシテ重大ナル關係ノアリマス、問
題デアリマス、デ政府ニ於キマシテハ夙ニ此「トラホーム」ノ豫
防法ノ制定ヲ必要ト感ジマシテ、既ニ過フル明治四十三年
ノ地方長官會議ニ本法案ノ骨子トモナルベキ、謂ハル未
定稿ヲ地方長官會議ニ諮問イタシマシタル所、當時ノ地方
長官ハ全然斯ル法案ノ制定ハ必要デアル、必要デアルガ、
是ハ檢診ヲスルトナデ居ルノデアアルガ、此法ヲ執行シタ場
合ニ於テ、果シテ眼醫者ニ差支ナイカ、施行上ニ付テハ遺
憾ハナイカ、異論ハナイカ、斯ウ云フヤウナ詰リ實際上ノ方
面カラノ意見カ出マシテ、政府モ如何ニモソレハ尤モデア
ルト云フ所カラ、四十四年カラシテ此「トラホーム」ノ講習ト云
フモノヲ致シマスルコト前後九回ニ互ニテ居リマス、尙ホ講
習ヲ受ケテ歸リマシタル者モソレト、地方ニ於テモ講習ヲ開
クト云フヤウニ致シマシテ、兎ニ角現在ニ於テハ愈、此法案
ヲ施行スル曉ニ於キマシテ眼醫者ニ差支アルト云フコトノ
ナイト云フ實況ニナリマシタカラ、茲ニ此法案ヲ制定イタシ
マシテ 是非出來ベキダケ此病毒ノ傳播ヲ防ギ、産業教育
國防、各方面ニ於ケル趣旨ヲ徹底シタイト云フ考デアリマ
ス、尙ホ終リニ一言申添ヘマスルコトハ此「トラホーム」ニ罹
テ居ル者ガ海外ニ移民セムトシマス際ニ、ドウモ上陸ノ検査
等ガ此爲ニアリマシテ、折角行タ者モ上陸ガ出來ナイト云

フヤウナ譯デ、海外發展ガ此病氣ノ爲ニ障害ヲ蒙ルコトヤ
亦少カラザル次第デアリマス、故ニ移民ノ關係カラ考ヘマシ
テモ、此法案ヲ制定スルコトノ必要ニ迫テ居ルコトヲ茲ニ
一言申上ゲマス、デ此「トラホーム」ノ第一條ニ於キマシテ消
毒其他豫防方法指示ノ義務ヲ醫師ニ與ヘマシテ、ソレカラ
又一方ニ於キマシテハ其指示ニ從ヒマシテ、施行スルノ義
務ヲ規定イタシマシタル、第二條ニ至リマシテハ若シ患者ガ未
成年デアルトキハ其際ニ於キマシテハ保護者ガ謂ハル治
療ヲ受ケルノ義務ヲ規定イタシマシタル、第三條ニ至リマシテ
行政官廳ノ強制治療、檢診ト云フヤウナコトノ基礎ヲ此所
ニ置イタル爲ニ此所ニ此趣旨ヲ明定イタシマシタル、尙ホ第四
條ニ行政官廳ノ「トラホーム」ノ豫防上必要ナル事項ヲ施行
スルノ權限、其費用ノ負擔ノコトヲ規定イタシマシタル、第五
條ニ市町村ノ豫防及治療施設ヲ致シマスル所ノ義務ヲ規
定イタシマシタル、第六條ニハ市町村ノ豫防治療費ニ道府縣
ガ之ニ補助スルト云フコト、本來ハ市町村ノ範圍ニ致シ
マシテ、ソレニ對シテ市町村費ニ道府縣ガ補助ヲ與ヘルト
云フコトヲ第六條ニ規定イタシマシタル、第七條ハ謂ハル道
府縣ノ補助シタル其額ニ對シマシテ國庫ガ之ヲ補助スル
要スルニ國道道府縣及市町村、此三方面ガ一致協力イタ
シマシテ、本病ノ豫防ニ當リタイト云フノ趣旨デアリマス、
尙ホ第八條ニハ官廳、官立ノ學校ニ對シマスル督勵ヲ掲
マシテ、此法ノ趣旨ニ準ジテ豫防ヲスルト云フコトノ趣旨ヲ
明ニシマシタル、第九條ハ醫師ノ指示義務ノ違反者ニ對スル
制裁、又保護者ノ消毒、其他豫防方法ヲ施行スルコトヲ怠
リマシタル場合ノ制裁ヲ規定イタシマシタル、ソレカラ十條ハ官廳ノ
命令又ハ處分ニ違反シタル者ノ處罰法ヲ規定イタシマシ
タル、十一條ニ此保護者ト云フノハ何デアリマスカト云フコト
ノ趣旨ヲ明ニシマシタル、十二條ハ市町村制ヲ施行イタシマ
セヌ地方ニハ矢張り市町村ニ該當スル所ノモノニ適用スル
ト云フ趣旨ヲ明定イタシマシタル、極ク概要ヲ申上ゲマシテ尙
ホ御質問ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマス

○江木千之君 第一ニ此第四條ノ三項ニ「學校、幼稚
園」ニ云タル、サウシテ「場所」ノ管理ヲ爲ス者若ハ其代理
ヲ爲ス者ニ對シ「トラホーム」ノ豫防上必要ナル施設ヲ爲サシ
ムルコト」此學校、無論ハ病院モ含ムデアリマセウガ、之ニ
付テ府縣立ノ學校、病院、郡立ノ學校、市町村立ノ學校、
病院ニ付テハ管理ヲ爲ス者ト云フノハ、府縣立學校ナラ府
縣知事ヲ言フノデアアルカ、府縣立學校長ヲ指スノデアアルカ、
郡立デハ郡長デアアルカ、學校長デアアルカ、市町村ニ付テハ市
町村長デアアルカ、學校長デアアルカ

○政府委員(杉山四郎君) 御答ヘ申シマス、是ハ府縣
立病院デアリマスレバ其管理者ハ矢張り府縣立病院ト云
フコトニナリマス

○江木千之君 學校ナラ學校長ト云フコトニ……

○政府委員(杉山四郎君) 左様デゴザイマス

○江木千之君 然ラバ此第十條ノ所ニ參ジテ「第四第
一項ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令又ハ處分ニ違反シタル
者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」トアリマス、サウ
スルト此學校長、病院長ハ其職務ヲ怠ク爲ニ刑法罰金
ヲ受ケルコトナル、是ハ殆ド法律ニ例ヲ見ナイコトデ
アリマス、會テ要塞地帶法ヲ陸軍ヲ制限シタルト云フノデハナ
イカ、陸軍ノ所管ニ屬スル所ノ要塞地帶法ト云フ法律ガ出
タ時ニ、ドウモ少シ研究ガ足ラナカッタカ法文上カラシテ、要
塞地帶ノ道路ヲ修繕スル鐵札ガ要ル、所ガ其郡郡長ガ
道路ノ修繕ヲシテ其鐵札ヲ返スコトヲ期限ヲ設ケ所ガ郡
長ガ刑法罰金ヲ受ケルコトナル、是ハ實ニ怪シカラ
ヌ話、官吏ガ職務ヲ行フノ誤ト云フ、私ノ罪ヲ犯シ
タナラ兎ニ角、職務上ノ失態ヲ刑法罰金ト云フノハ怪シカ
ラスコトデアアル、第一其罰金ハ國庫カラ出スカドウカト云フ
問題ガ起リ、遂ニ陸軍省デモ其事ハ驚イテ、要塞司令官ト
云フモノヲ其後極ク穩カナ、人情モ分リ極ク穩カナ伊地知
少將ヲ要塞司令官ニシテ、サウシテサウ云フヤウナコトハ檢
舉モシナイ、サウ云フヤウナコトモセヌト云フコトデ、治リガ付
イタコトデアアルガ、其他ニ殆ド例ヲ見ナイ、府縣立學校長ト
言ヘバ其中ニ師範學校モアル、此師範學校長ナドハ純然タ
ル官吏デアアル、其他モ皆官吏ノ待遇ヲ受ケルモノデアアル、ソ
レガ學校ガ斯ウ云フ設備ヲシナクテハナラヌト云フコトヲ言
付ケラレシナカッタト云フノハ、職務上ノ怠慢トシテ監督
官廳ガ之ヲ懲戒令ニ依テ處分スルト云フコトハ殆ド今日迄ノ法
律ニ類例ノ無イコトデアアル、是ハ隨分私共ハ一體驚イタル
律ヲ思フ、第八條ノ場合ハ御説明デ分タガ、第八條ニ官
廳、官立ノ學校云々ニ於テ云タル、是ハ官廳デアアルカラ
命令シナイト云フ趣旨デアラウト思フ、併ナガラ府縣モ官廳
デアアル、郡モ官廳デアアル、府縣立學校ヤ何カハ、公立學校ト
云フモノハ官立ノ學校ト同様ナモノデアアル、唯官立ト云フダ
ケ此所ヘ引拔イテ、第一府縣立學校ヤ何カヲ刑法罰金ト云フ

ト云フコトハ、一體私ハ政府ノ協議ガ能ク調ウテ、文部大臣ナドハ此事ハ當然ト考ヘラレテ政府デハ居ルノデアルカ、事ニ依テラ文部大臣ノ出席モ請ウテ此邊モ能ク確メタイト思フ、ドウ云フ御意見デアリマセウカ

○政府委員(杉山四郎君) 唯今江木先生ヨリノ御質問ノ要旨ハ篤トテ承イタシマシタガ、實ハ此第八條ノ官廳、官立ノ學校、製造所等ニ於テハ云々トアリマス、總テ他ノ法律ニモ斯ウ云フ風ニ、傳染病豫防法ニ於キマシテモ尙ホサウ云フヤウナ規定ガアリマスルノデ、官廳、官立ノ學校等ハ此法ニ準ジテ施行セシムルト云フコトヲ立テ前ニシテ居リマス、「トラホーム」豫防ノ如キコトハ現ニ學校等ニ於キマシテハヤデ居リマス、ヤデ居リマスガ尙ホ法ノ基礎ヲ此所ニ與ヘマシテ、詰リ主トシテ此「トラホーム」豫防上ノ必要ナル施設ヲナサシムルト云フコトニ重キヲ置イテ居リマスノデ、今ノ先生ノ御懸念ニナリマスルヤウナ、其國家ノ官吏タル者ヲ罰スルト云フコトハ豫想ハシテ居リマセヌノデス、蓋シ施設ヲ命ジマスレバ必ズヤ國家ノ一機關トシテ居リマス所ノモノデアリマスルカラ、今御尋ネノ如キ場合ニ於キマシテハ、必ズ其施設ヲ當然ヤルコト、私共デハ豫想シテ居リマス、ソレニ違反スル者ガアルコトヲ初カラ考ヘテ居リマセヌ、從ヒマシテ國ノ官吏デアリマスル所ノ學校長トカ病院長ヲ制裁スルト云フ場合ハ、我、ノ方デハ豫想シテ居リマセヌ、尙ホ本問題ニ付キマシテハ文部省ナドモ篤ト合評ヲ致シマシタ上ニ提案ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、要塞地帶法ノ御話ノ如キハ如何ニモ甚ダ不都合千萬ナコト、心得マスカ、決シテサウ云フ風ナ場合ニ成行カウト云フコトヲ提案者ノ方デハ想像シテ居リマセヌノデス、大要右ノ如ク御了承ヲ願ヒマス

○江木千之君 唯今ノ御説明ハ誠ニ不合理ナコトデヤナイカト思フ、ト云フハ第十條ニハチヤント、第四條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ命令云々トナッテ居ル、罰スルト云フ明文ニハ是ヨリ確カナコトハナイ、明文ガアル、所ガ學校長ナドハ之ニ違フコトハシナイデアラウト云フ御説明デアルガ、シナイナラ取除ケルガ宜イ、併シ又官吏公吏ガ職務ヲ行フノ不都合ガナイモノダト云フ想像ハ付カヌ、ソレナラ懲戒例モ要ラヌノダ、官吏ナドト云フモノハ決シテ職務ニ違背スルモノデハナイト云フ御説明ナラバ、一體懲戒例モ要ラヌデス、矢張り懲戒例ト云フモノガアルノハ官吏ガ職務ヲ怠リマシタトキニ罰スル場合ノ懲戒例デ、學校長ナドハ斯様ナ不都合ヲシナイデアラウ、ダカラ之ヘ掛カル氣遣ハナイト云フヤウナコトハ、是ハ私ハ説明ニハナラヌコトダと思フ、併シ是カラ先キハ議論ニナリマスカラ、何又議論ノ所ヘ行シテ申シテモ宜シイ、要スルニハ非常ナ不備ナ法律ト私ハ考ヘル

○男爵高木兼寛君 是ハ一應説明ダケデアトハ先キノ方ニ進ンデ御出デニナル御積リデゴザイマスカ

○委員長(侯爵花山院親家君) 全部ニ互テ御質問ヲ...

○男爵高木兼寛君 全部デハ困リマス、全部ト云フト三ツアリマセウ

○委員長(侯爵花山院親家君) ソレデハ「トラホーム」ノ御質問ヲ御續テテ願ヒマス

○男爵高木兼寛君 私ガ茲ニ思ヒマスルコトハ、第一條ニ於キマシテ醫者ガ診察ヲシテ消毒其他ノ豫防方法ヲ患者ニ教ヘテヤラセルト云フコトハ自然デアルベキデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、去リナガラ此病ガ盛ニ流行シテ居リマスルカラ、尙ホ之ヲ治療スル醫師ニ注意ヲ促シテサセルト云フコトハ至極當ヲ得テ居ルカト思フノデス、又醫師ノ報告ニ依リマシテ當該官吏吏員等ガ必要ト認ムル時ハ患者及其保護者ニ消毒其他ノ豫防方法ヲ指示スル、是モ穩當ノ事柄デアラウト思フノデス、又指示ヲ受ケタル者ガ其指示ニ從テ其消毒其他ノ豫防方法ヲ行ハル、固ヨリ斯クアリ度シト思フノデアリマス、併ナガラ之ニ付テ見マスル、第九條ニ現ハレテ居リマスル、是等ノコトヲシナイハ科料ニ處スル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フコトハ頗ル困難ナ問題ニナッテ來ルダラウト本員ハ思フノデアリマス、本來此病氣ニ罹タル人ハ一日モ早ク病氣ハ治シタイノデス、病ノ癒エルノヲ思ムヤウナハ決シテナカラウト思フ、教ヘテ貰タル人ハ誠ニ有難ク思フノデアリマス、教ヘル人モ喜ンデ教ヘル譯デアリマスルガ、併シ第一項ニナリマスル通り醫者ガ教ヘナイト云フ時ニハ醫者ヲ罰スル斯ウ云フコトニナルガ、醫者ガ教ヘナイト云フコトヲ當局ハドウシテ御發見ナサレテ、科料ニ處スルダケノ材料ガドウシテ得ラル、譯デアリマスル、斯ウ言ヒタイノデアリマス、ソレニナリマスレバ材料ヲ得テ人ヲ罰スルト云フコトニ付テハ確實ナル材料ガナケレバ之ヲ處分スルト云フコトハ到底不可能ナコトデアラウト思フ、ソレ故ニ醫者ニ於キマシテハ何月何日ニ是ダケノコトヲ本人ニ指示シタト云フ證據ガナケレバナラヌト思フノデアル、又患者モ指示ヲ受ケテ何故シナイカト斯ウ申シテ見タ所ガ、イヤ指示ヲ受ケタコトガゴザトマセヌト言ハレタラソレギリデアル、ソコニ指示シナイト云フ證據ヲ出セバソコニ於テ初メテ醫者ハ指示シナイト云フコトデ第九條ニ照サレテ處分ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナラダラウト思フノデアリマス、ソレガ第一項、第二項ハ役人デスカラ是ハ此限ニ在ラズト云フ此政府委員ノ説明デ了解ガ出來タ、役人ト云フモノハシナイト云フ譯デアルカラ是ハ取除ケ法ノ如ク見エルノデアリマスガ、第三項ノ「第一項又ハ前項ノ規定ニ依リ指示ヲ受ケタル者ハ其ノ指

示ニ從ヒ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ行フヘシ」是ハ行ハザル時ニハ科料ニ處スルトアリマスガ、今日患者ハ一千万人以上ノ者ガアリマス、其者ガ治療ヲ怠テ居ルカ居ナイカト云フコトヲ調ベルト云フコトニナルト其費用ハ莫大ナモノデアラウト本員ハ考ヘルノデアリマス、ソレ故ニソレヲ果シテ確實ニシテ此法ヲ徹底ノ二行フト云フコトガ出來ルベキモノデアリマス、カ、ドノ位ノ費用ヲ御掛ケニナレバ一千万人以上ノ患者ヲ以テシナケレバナラヌ、是ハ實際行ヒ得ベキモノデアアルカ、サウシテ置イテ時ニ依ッテ人ヲ處分スルト云フ位ナコトニナルノデアリマスガ、ソレデハ法律通り明ニ爲サウト云フニハ餘程手續ヲ要スル事柄デアアルト本員ハ思ヒマスガ、其事ハ期待ノ通り第九條ヲ御實行ナサルト云フコトハ正シク出來ルト云フ御考デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ一ツ伺ヒタイノデアリマス、「トラホーム」ノ治療豫防法ニ付テハ隨分是マデ金モ掛ケ、時モ費シテ當テ見タト云フコトデアリマスガ、所ガ其割合ニ病氣ガ減ラナイ、文明ノ進歩ト共ニ年々「トラホーム」ノ數ハ減ズルガ如ク見エテ居リマスガ、大ニ力ヲ用ヒテ見テモソレダケノ效果ヲ收メテ居ラヌト云フコトヲ唱ヘテ居ル所ガアルト云フコトハ當局モ御存ジダト思フ、是ダケ大體ニ於テ國庫カラ金ヲ出シテ爲サレタ所ガ、矢張り元ノ有様ニ略、止マルト云フ虞ガアリハセヌカト本員ナドハ感ズルノデアリマスガ、何ヲ頼リニシテ是ダケノ金ヲ出シテ「トラホーム」ガ豫防ガ出來ルト云フコトヲ御信ジニナッテ居ルノデアアルカ、確カナ見込ガ付イテ而シテ此要求ガ出來ルト云フコトデアレバ至極穩當ナ事柄デアラウト思フ、私共ハ之ヲ常ニ思ウテ居ルコトデアリマスカラ此二點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(杉山四郎君) 第一條ノ此指示ノ方法デアリマスガ、是ハ命令ノ定ムル所ニ依リテアリマスル通り、命令ニ豫防、消毒ノ方法等モ差示シマス考デアリマスガ、指示ノ方法ハ書面ヲ以テ指示セシムルノ考ヲ有テ居リマス、從ヒマシテソレヲ制裁ヲ附スルノ標的ト爲ス積リデアリマス、ソレカラ次ニ費用ノ問題ノ御話ガゴザイマシタガ、先ヅ大正六年末人口ニ、壯丁ノ檢査ノ際ニ於ケル「トラホーム」患者ノ率ヲ以テ推算イタシマス、總患者數ガ千百七十七萬二千二百一十一人ト云フ數ヲ得ルノデアリマス、ソレデ其中貧民患者ハ百人中十人ト云フコトニ致シマシテ、百十七萬二千二百一十人ト云フ數ヲ得ルノデアリマス、ソレニ對シマスル市町村負擔ガ約二百四十七萬八千八百五十三圓、ソレニ對シマスル道府縣ノ負擔ガ市町村ニ對シマシテ補助シマス、ソレガ五十一萬九千九百六十三圓、之ニ對シマスル所ノ國庫補助ガ九萬七千五百十六圓、ソレデ先ヅ一日平均五錢ノ費用ヲ

以チマシテ、其治療日數が一入三十五日ト積算シテ居リマス、一人平均一圓七十五錢、斯フ云フノガマア費用ノ立前デアリマスルガ、段々從來「トラホーム」ノ豫防ニ關スル施設ニ付テノ御話ガ唯今ゴザイマシタガ、其通り現在トモ相當地方ニ依リマシテハ多キハ六千圓モ出シテ居リマス所ガアリマスガ、併シ又或ル地方ニ於キマシテハ二三百圓モ辛ウジテ出スト云フヤウナコトモアリマシテ、畫ニ一ニ行テ居リマセヌノデ、而シテ最モ現在「トラホーム」ノ豫防治療シテ居リマスル上ニ不備ニ感ジマスルノハ、檢診ノコトガ出來マセヌノデアリマス、法ノ基礎ガナインデアリマスカラ、各地方地方ノ地方令ヲ以テ唯特別ノコトヲ規定シマスルノデアリマスカラ、所謂檢診ノコト云フ：自由ヲ拘束スルト云フコトガ法ノ基礎ガナイン爲ニ出來マセヌ、是ガ一番現在各地方ニヤッテ居リマスル所ノ上ニ於テ遺憾ヲ極メテ居ル理由デアリマス、幸ニ此法ノ所謂檢診ト云フコトガ出來マシタナラバ、先ヅ大體各地方ヲ通ジマシテ其村、其町ノ「トラホーム」患者ノ有無ヲ檢診シテ、病氣ノ者ハ醫者ニ掛ラシムルハ費用ノナイ者ハ市町村費ヲ以テ治療シテヤル、斯ウ云フ風ハ一齊ニシマシタナラバ希ハクハ或ル程度マデ徹底ノニ參リハスマイカ、サウ云フ實ハ考デ居リマスルノデ、此終リニ唯今男爵ノ御質問ハ第九條ニ制裁ガアルガ、是ハドウ云フ風ニシテ制裁ヲ課スルカ、詰リ醫師ガ書面指示ヲスルコトガ無イト云フ場合ニ於テ詰リ制裁ヲ課サレル結果ヲ生ズルコト、思ヒマス、併ナガラ此點ハ衆議院ノ本案ヲ決定スル時分ニ矢張り同様ノ質問ガアリマシタノデアリマスガ、醫師ニ第九條ニ依リテ制裁ヲスルト云フコトハ、法ノ義務ヲ命ジマスルガ故ニソレニ對シテ制裁ヲ課スルノハ已ム得ナイ次第デアリマシテ、サウスルノヲ以テ眼目トシテ居ルノデヤゴザイマセヌ、他ノ刑法ノ如ク處刑、刑ヲ課スルト云フコトヲ主眼トシテ居ルヤウナ第九條ハ規定デハナイ、ナスベシト法ガ命ジテ居ルガ故ニ其義務ヲヤリナイ醫者デアリマスレバ無論此法ニ依リテ國家ノ公的機關トシテヤルコト、ハ無論信ジテ居リマスガ、若シ萬一ニモ此義務ヲシナイ者ニ對シテハ制裁ヲ付シテ此第一條ノ實行ヲ期シタイ、要スルニ當局トシマシテハ現在ノ地方令デハ到底徹底ノ二行カヌコト、考ヘテ居リマス、ドウカ此法律ノ條章ニ依リマシテ市町村ガ救療ノ道ナキ、「トラホーム」患者ニ治療ヲ加ヘナイノモ今マデ檢診ノ道ガ無カッタ爲デハナイカ、今度此法ガ開ケマスレバ其救療ノ道ノ無キ者ハ市町村ノ費用ヲ以テ治療シテヤル、向ホ市町村ダケデハハ費用負擔ノ關係ガアリマスカラ道府縣ニシテ之ニ一定ノ歩合デ補助シ、向ホ道府縣ノ負擔ニ對シテ國ガ一定ノ率ニ於テ補助スル、詰リ今回ヤツ以上ハ願ハクハ此方面ニ向テ力ヲ盡シテ見タイ、今マデハ御覽ノ通り唯地方「アチコ

チヤッテ居ル處モアリマスルガ、ドウモ畫一的ニ行テ居リマセヌ、夫レ是レ考ヘマシテ今度此法律案ヲ提出シマシタ次第デアリマス

○男爵高木兼寛君・私ノ尋ネタ處ヲ外レタ處ヲ御辯明ニナッテ居リマスガ、漸ク忍耐シテ拜聴シタノデアリマス、私ノ御尋スルノハ各地方デ實際ヤッテ居ルノデアル、ソレデソレ程ノ效力ガ無イガ如ク見エテ居ル、ソレデアルノニ今澤山金ヲ御費シニナルト云フヤウナ法ヲ御出シニナルニ付テハ何カ確ト致シタ據ロガ無クチャナラヌト思ヒマス、斯ウ申シタノデアリマス、ソレデアル例ヘテ申セバ年二五六千圓金ヲ費シ豫防ニ從事シテ居ル處モアル、或ハ僅シカ支出シテ居ラヌ處モアル、ソレニ付テモ病狀ニ多少ガアルニ依ッテ費用ノ多少モアラウ、又サウデナク有テモ無クテモ或ル方法ヲ設ケテ金ヲ費シテ居ル處モアルダラウ、現ニ青森縣ノ如ク澤山金ヲ使ッテ檢診醫モ居レバ治療醫モ居ルト云フガ如キ隨分手數ヲ掛ケテヤッテ居ル、是ガ實際ニ當ッテ居ル人ニ聞イテ見レバソレ程ノ效ハ無イト云ッテ居ル、成程御話ノ通り檢診トカ届書ナド方法トシテハ結構ナコトデアラウト思フケレドモ、今御尋シタ通り確カナ據ロガアッテ是デヤレバ確カニ此病ヲ除ケルト云フコトナラバ人ヲ罰スルヤウナコトヲヤルノモ結構ダケレドモ、左程法ヲ實施シテモ效ノ無イモノ人ヲ罰スル罰スルト云フコトハ餘リ政府ガ現金主義デ、人ハ惡イコトヲスルト云フモノノ如クバカリ見ルト云フ風ガアル、物ニ依ッテハ唯考ヘルト云フコトモ國家ガスベキデアラウト思フ、我國ノ立法ハ兎角始ガ有レバ終ガ無クチャナラヌト云フヤウナ譯デ、仁政ヲ施シテ民ヲ撫育スルト云フ方デアハナイ、俗ニ言フ現金主義デ右カラ左デ無クチャナラヌト云フ弊ニ陷ッテ行クノデアリマス、人民一般ニ教ヘテヤル方ナラバ喜ブノデアリマスカ、サウデナイ、此通りシナイト云フ直ニ罰金デヤ、斯ウ云フヤウナ風ニ人ヲ取扱フト云フコトハ人ヲ治メス方法デナイト思フ處カラ遂ニ斯ナ質問ヲ致ス譯デアリマス、斯ウ云フコトニ金ヲ使ッテ、使ッダケノコトガ是マデ無イデアアリマセヌカト云フコトヲ申ス、ソレニ付テハ斯ウ云フ證據ガアルト云フ其證據ヲ出シテ欲シイト斯ウ云フ意味デアリマス

○政府委員(杉山四郎君) 私ノ答辯ガ少シク不十分デアリマシタカ知リマセヌガ向ホ重ネテ御質問ヲ被リマシタカラ御答ヘ致シマスルガ、詰リ現在ヤッテ居リマス「トラホーム」ノ豫防ノ仕方ト云フモノハ御話ノ如ク、青森縣ニ於キマシテモ相當段々患者數ヲ或ハ六十「パーセント」若クハ五十「パーセント」ト云フ町々村々ニ依ッテ兎ニ角患者ヲ發見スルコトニシテ居リマス、シテ居リマスガ畫一ニハドウモ參ッテ居ラス、患者ノ檢診ト云フコトハ法ノ根據ガ無レバ出來ナイノデアリマスカラ、ドウモ患者ヲ見附ケルコトニ於テ徹底

ヲ缺ク、是ガ現行ノ地方令ノ下ニ於テ行ヒマスカラ其處ニ一大缺點ガアル、ト云フコトハ私ハ先程申シマシタ積リデアリマス、ソコデ此度ハ此檢診ノ道ヲ開キマシタナラバ遺漏ナク全國ヲ通ジテ此「トラホーム」患者ノ在ル處ハ皆發見セラレル、發見シタ處デ是マデノヤウニ地方ノ極ク例外トシテ六千圓ノ費用ヲ出シテ居リマス、實ハ是ハ極ク例外デアリマス、サウハナカ「金ヲ出シテ居リマセヌ、ソレハ此法ノ市ス處ニ依ッテ全國一齊ニ市町村ノ「トラホーム」ノ豫防法ヲ命ジテ其市町村費ヲ以テ地方ガ當ルト云フコトニナリマスレバ、從來ノ如ク不徹底ハナク大ニ徹底シテ行クダラウ、行カシメヤウト云フノガ此法ヲ出シマシタ所以デアリマス、此科料料ト云フコトガ九條十條ニアリマスカラ如何ニモ民ヲ導クニ其道ヲ以テセズ唯法律ヲ以テ彼ニ臨ムト仰セニナリマスレバソレハ高木男爵ノ御議論デアッテ、決シテ立法スル處ノ我々當局トシマシテハ彼等ヲ主眼トシテハ居ラスノデアリマス、先程申シマス通り、勢ヒ已ムヲ得ナイ場合苟クモ醫師ノ如キハ公的機關トシテ醫療ノ機關トシテ働ク者デアリマスカラ、一條ニ指示スベシト書イテアリマスレバ、マア多クノ醫師ハ固ヨリ此法ノ命ズル處ニ依ッテ「トラホーム」ノ豫防治療ヲスル場合ニモ必要ナル事項トシテ其消毒其他豫防ノ方法ヲ指示スルコトヲ考ヘマス、大部分：...

○男爵高木兼寛君 ソレハ分リマシタ

○政府委員(杉山四郎君) 偶ニ此ニ制裁ガ第九條ニゴザイマシテモ殆ド制裁ヲスル者ハアルマイト思ヒマスガ、併シ國家ガ法ヲ制定シテ義務ヲ命ジマスル場合ニ、其義務ヲ履行セヌト云フ場合ハ絕對ニ無イトモ云ヘマセヌカラ、其場合ヲ豫想イタシマシテ茲ニ制裁ヲ第九條ニ致シタ次第デアリマス

○男爵高木兼寛君 未ダ私ハ十分ニ了解イタシマセヌ、向ホ伺ヒマス、今日ノ如ク「トラホーム」病ガ流行イタシテ居ルノハ全ク其病氣ヲ發見スルコトガ出來ナイ結果デアラウト仰シヤルヤウニ見エル、檢診ガ不十分デアルカラ云々ト云フ處ヲ見マスルト、即チ「トラホーム」病ヲ發見シ得ザルコト多キガ爲ニ豫防法ヲ執行スルコトモ徹底セヌ、既ニ豫防法ヲ執行シテ徹底シタ處アルヤ否ヤト云フ御尋ヲシタノニ之ニ對シテ明瞭ナ御答ガナイ、サウシテ見ルト其方ハ無イノデアルト了解イタシ宜シウゴザイマスカ、モウ一ツ今申シタ通り檢診ガ不十分デアル、是マデノヤリ方ガ違ヒハセヌト極メテ御出ニナルノデアリマスガ

○政府委員(杉山四郎君) 私ハ先ホ下檢診ノ途ガナイト云フコトヲ申シマシタガ、固ヨリ此「トラホーム」ノ豫防ノコトタルヤ、此法律之ノミヲ以テ「トラホーム」ノ豫防ガ出來ルト云フコトハ申サヌ積リデアリマス、先ホ私ノ申上デ方ガ不

○男爵高木兼寛君 仰ッシャタコトデハ、了解イタシテ居
リマセヌ

○政府委員(杉山四五郎君) 八條ハ詰リ官廳官立學校製造所等ニ於キマシテ、其長タル者が其四條ノ規定ニ準ジテ「トラホーム」豫防ニ關スル事項、施行スベキコトヲ規定シテ居リマス、是ハ謂ハユル準ジテ施行スルコトヲ指示シテ置キマスノデ、是ハ別ニ制裁ヲ以テ施行スル性質ハ有ッテ居リ

マセヌ、本來……ソレカラ尙ホ此場合ニ補ウテ置キマスガ、先
ホ下官吏ヲ罰スルト云フ規定ハ外ニナイ故ニト云フ御言葉葉
ガアリマシタガ、傳染病象法ノ第四條ニアルヲヨト規定

ヲ申上ゲマス、ト、第四條傳染病又ハ其ノ疑アル患者若ハ其ノ死者アリタル家ニ於テハ速ニ醫師ノ診斷若ハ檢案ヲ

受ケ又ハ直ニ其ノ所在地ノ警察官吏、市町村長、區長、檢疫委員又ハ豫防委員ニ届出ヘシ、前項ノ届出ヲ爲スヘキ義務者ハ一般民家ニ在リテハ戸主若ハ之ニ代ル(キ者、社

寺、公私立ノ學校病院、製造所又ハ船舶、會社、各種事務所、貸席、興行場其ノ他集會ノ場所ニ在リテハ其ノ首長、

管理人又ハ代理者トス」斯ウゴザイマシテ三十一條ニ依リ四條ニ違背シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス、法律ノ制裁ノ場合ハ有リ得ルノデアリマス

○江木千之君 公立病院ガアルカ知レマセヌガ、何レモマ
ア衛生ノ規則ト云フモノハ……法違ヒノコトヲヤツテ居ルノ
ハ、遺憾ナシ、是ハ、一意見ニテシテ、別ノ一人ノ人案

今ノ質問ニ之ニ準ズルト云フコトハ第十條ニ準ジテヤル、是ハ十

○政府委員(杉山四五郎君) 成ホド至極御尤ナ點デユ
ザイマスガ、私ノ申上デ方ガ不十分ト思ヒマスガ「官廳、官

スルト云フコトハ、是ハ事實有リ得ナイ次第デアリマスカラ
詰リ此法ノ所ニ依テ第四條ニ準ジテ其事ヲ行フコトハ
當然デアル、ソレデアリマスカラ別ニ此十條ニ以テ行ツテ、八
條ニ對スル制裁ハ置カナイ譯デアリマス

○江木千之君　今ノ御説明ガ私ノ疑ヲ起ス元デアル、官

立學校ト云フモノハ國家ノ機關デアル、ソレニ刑法ノ制裁ヲ加フル道理ハナイカラ御尤デアル、其精神ガアルカラ十條ニ對シテ質問ヲ起スノダ、是ハ地方費ヲ以テヤツテ居ル、學

校ノ如キハ何所マデモ國家ノ機關デアル、立派ナ機關デア
ル、殊ニ師範學校ノ如キハ純然タルモノデ、師範學校長ハ

官吏デアルハ、國家カラ俸給ヲ出ス、官等、敘位、敘銜總テ純然タル皆官吏デアル、國家ノ機關デアル、其他中學校ト云ヒ公立學校ハ何レモ國家ノ機關デアル、卽チ府縣知事ノ指

揮命令ヲ受ケテ其事業ニ従事シテ居ル、其國家ノ機關ノ
勤キヲ刑法ヲ以テ罰スルコトハ疑ハシイト云ツカラ、十條

ニ付テ疑ヲ起ス、所ガ八條ノ説明カ分ラヌ、八條ヲ引イテ
聞イタラ分ルダラウト思ツタ、一體私ノ初メヨリ頭ニ有ッデ居
ルコトデ、國家ノ機關デアルカラ刑法ノ制裁ヲ受ケヌデ宜

イ、其道理想アル、八條ノ公立學校ナド、云フモノハ純然タル國家ノ機關デアル、ソレノ刑法ノ制裁ヲ受ケサスト云フコ

トハ分テナイ。衛生局デ起案シタ法律テアルカテ一ノ例カ
アルカ知ラナイガ、ソシナモノハ私ノ目デ見テモ分ルガ、ソシ

舞フ、證據カナイ、醫師カ迷惑ヲ受ケヌヤウニスルニハ醫師ハ書附ヲ渡シタ上ニ一々受取書ヲ取ラナケレバナラヌ、醫師

テ、果シテ斯ウ云フコトガ目的ガ達セラレルヤ否ヤ醫師ニハ不心得ノ者モ往々アルノデアラウガ、隨分是ハ高い職業デ、サウマデニ見下ゲヌデモ、又料料ニ處スルト行キナリヤラヌデモ、能ク此行政警察ナドモ相助合テヤルト云フヤウナコトデナケレバイカヌノデアル、醫師ヤ何カノ組織ヲ通ジテ、

醫師ノ方カラドノ邊ノ部落ハ「トラホーム」ノ患者が多イト
云フ場合ニハ、行政警察ナド、力ヲ戮セテヤツタナラバ宜カ
ラウト思フ、醫者が書附ヲ渡シテ置イテモ豫防ガソレデ行

ハレルモノデハナイ、行政警察ノ方デモ注意ヲシテ、能ク醫者ノ云フコトヲ聞イテ注意シナケレバナラスト思フ、サウナッ

テ始メテ行ハレルノデアリマス、ソレカラ又醫者ヲ罰スルニシ
テモ歐羅巴ナドデハ初メニハ警告ヲ與ヘルト云フコトデア
ル、非常ナ不都合ナ醫師ナラバ初メハ警告ヲ與ヘテ、ソレデ

モ尙未聞カヌケレバ行政警察ノ處分モ受ケサセルト云フコトデアル、行キナリ科料ニ處スルト云フコトハ宜シクナイト思

フ、ドウモ法律ノ立方カ徹底シナイヤウニ思フカ、其邊ニ就
テハ十分ニ研究サレタノデアリマセウカ、ドウ云フ考デアリマ
セウカ

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今江水先生ヨリ御質問ノ次第ハ御尤モデアリマス、此指示ノコトニ付テハ先程高

木男爵ニ一應御答ヲ致シマシタ積リテアリマスカ書面ヲ以テ指示イタシマスノデアリマス、ソレニ付テ江木先生ヨリ

患者ノ生活狀態ノ異ナルニ從テハ自然指前事項モ違ハナ
ケレバナルマイト云フ御話アリマシタガ、實ハ大體指前シ
マスル事項ハ詰リ「トラホーム」ト云フモノヲ豫防スル「トラホ
ーム」ニ對スル消毒アリマスカラ、大體其要項ハ命令デ規
定イタシマス積リデアリマスカラ、此指前ヲ致シマス際ニ一
書面ニ依テ指示シタカラ受取リテ取テ置カナレバ不
安心デアル、成程制裁スルコトヲ本志トスルヤウナ考デア
リマスカレバ、固ヨリサウ云フ必要モアリマセウケレドモ、ソコマ
デ私共ノ方デハ行ク積リテハナインデ、醫師ハ本來國家ノ
公的機關トシテ斯ウ云フ風ニ法ガ命ジマセヌデモ一體ヤル
ベキモノダト思ヒマスカ、併シ法トシテ此義務ヲ規定シマス
以上ハ一層醫師ニ於テハ此法律ニ指示スル所ニ依テ指
示スルコトデアラウト考ヘテ居リマス、尙ホ行政警察ノ方ノ
御話デアリマシタガ、是モ當局ハ固ヨリ御同感デアリマス、
是ハ唯第一條ノ第一項ニ違反シタモノガアルカラト云フノ
デ直グ罰スル、決シテ罰スルコト云フコトヲ以テ主眼トシテ考
ヘテハ居リマセヌ、今ノ後段ニ御指示ニナリマシタ外國ノ例
ノ如ク警察ト云フモノガアルト云フ御話デアリマシタガ、元
是ハ醫師ハ國家ノ公的機關トシテ、此「トラホーム」ノ豫
防ヲ徹底サセルニ必要ナル機關トシテ此一條ニ規定シマ
シタカラニハ彼等ト行政警察トガ兩々相俟テ此實行ヲ徹
底セシムルト云フコトニ眼目ヲ置カナレバナラヌコトハ先
生ノ仰シヤル通デアリマス、當局ニ於キマシテモ其ノ方ノ考
慮ヲ加ヘテ居リマスノデ、現ニ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ
モ同様ノ意味ノ御懸念ガアリマシテ希望ガ出テ居リマス、
衛生警察、此法ヲ實行スル時ニ警察權ヲ切廻スコトガ本
能デモアルマイカラ、寛嚴宜シキヲ得ルヤウニシテ貫ヒタイ
ト云フ希望ガアリマシタガ、ドウゾソレハ當局者トシテハ尤モ
千萬ナコトデアリマスカラ、元來此法ヲ作ル時カラサウ云フ
ヤウナ考ヲ持テ、無イヤウニスルト云フコトヲ以テ眼目トシ
テ居ルノデ、已ムヲ得ナイ場合ニサウ云フコトニ當ル人ニハ
制裁ヲ附スルヤウニナルカ知ラヌガ、元々制裁ヲ課スルノヲ以
テ絕對ノ目的トシテ居ル譯デアリマセヌカラ、固ヨリ澤山ノ
患者ヲ見ル時ニハ或ル人ニハ書面ヲヤラナイト云フコトガア
ルカモ知ラヌ、書面デ以テ指示シタカラト云フコト、ソレハ
罰スルト云フコトハ非常識ノコトニナリマスカラ、政府ハ從
來トモ間ニ此下級ノ警察官ガ時ニ此常識ニ違タヤウナ
コトノアルヲ遺憾トシテ居リマスノデ、是ハ特ニ當局大臣ト
シテハ常ニ地方長官ヲ監督シマスニ付テハ、警察ノ機能ヲ
シテ能ク機能ヲ完ウセシムルヤウニ、衛生ノ法規ヲ運用スル
ニ於テハ制裁ヲ以テ主眼トスルノデハナクシテ、其豫防治療
ノ大眼目ヲ徹底スル所ニ重キヲ置カヤウニト云フコトヲ指
示シテ居リマスガ、尙ホ此法律案ヲ愈々御協賛ヲ經マシテ

御裁可公布ノ上ニ於キマシテハ、當局ニ於キマシテハ十分
ニ考慮ヲ致シタイト云フ考ヲ持テ居リマス、如何ニモ書面
ノ指示ト云フコトハ一通リチヨット之ヲ考ヘマスカレバ、如何ニ
モ煩ノヤウニモ考ヘマスカレドモ、併シ矢張り是ハ何レ醫師會
ノ如キモノモ一面ニハ出來テ居リマスシ、サウ云フ方面ニ於
キマシテ大體書面ヲ以テ指示スベキ所ノ事項ヲ印刷ニデモ
シテ置キマシタモノヲ、ソレハ交付スルト云フコトニシマシ
タナラバ、立法上ニ於テ左マア困難モアルマイト考ヘテ居リ
マス次第デアリマス、右様御承知ヲ願ヒマス
○江木千之君 イロ／＼御説明ガアリマシタガ、ドウモ書
面ヲ以テ方法ヲ指示サスナドト云フコトハ、醫師ナドノ思想
ハ餘程低イモノダト云フヤウナ感ガアデ、考ガアデシタ
モノデアラウト思フ、受取リテ取テ置クニ及バヌト云フナラバ、
無論書面ニ及バヌ、此上ハ隨分諸官省ヘノ届ナドモ口頭デ
ヤデモ宜シ、書面デヤデモ宜イト云フ事柄ガ段々起テ來ル
ヤウナ世ノ中デアアル、醫師ガドウモ患者ヲ診察シテ豫防消
毒ノ法ヲ示スノニ書面デヤレト云フノハ、見下ゲタ譯デナ
カ、ソレヲシナカッタナラバ科料ニ處分スル、是ハ隨分中ニハ
不心得ノ者ガアリマセウガ、併シマア隨分醫者ナドハ高イ職
業デアアルカラ、唯診察代サヘ出セバ何デモヤデテ呉レルモノ
ト云フコトニ見ルト云フコトハ、餘ホ下見下ゲタ話デアアル、ソ
レヨリモ寧ろ實際醫師會ナドノ活動ヲ盛ンサセルヤウニシ
テ十分ニ醫師ナドガ申合セテ豫防ノ指導モスルシ、消毒ノ
實行ヲ醫者カラ言聞カサレルケレドモ、中々其通りニ往カヌ
ト云フヤウナ場合ニ處スル方法ナドハ、必ズシモ法律ニ求メ
ズ、矢張り衛生組合ナリ、又別段ノ方法ヲ以テ其目的ヲ達
スルヤウナ事ヲ講ジナクテハイキマイト思フ、ドウモ餘ホ此
法ハ詰リ醫師モ患者モ、共ニ善イ事ハヤラヌモノダト云フヤ
ウナ頭デ、ドウモ出來テ居ルヤウニ思ハレル、醫師社會ナドハ
モット活動シテ、自分自カラ斯ウ云フ事ニ當ルダケノ考ヲ起
サスヤウニシテ、サウシテ到底ソレガ又地方ニ依テハ、必ズ
シモサウモ往カヌト云フ場合ガアルナラバ、前ノヤウニ中央
政府ノ許可ヲ受ケテ、地方ノ警察ヲ以テ科料ニ處スルト云
フ規定ヲ行フト云フ位ノ事ガアレバ、ソレデ宜イ、科料ガアル
カラ、ソレデ豫防ノ目的ガ達セラレトカ云フ趣意ノモノデ
ハアルマイト思フ、マア是ハ意見ニナルカモ知レマセヌガ、
○政府委員(杉山四五郎君) 唯今江木先生ノ段々ノ御
意見モゴザイマシタガ、實ハ第一條ノ第二項ニ「當該官吏
又ハ吏員ハ必要ト認ムルトキハ「トラホーム」患者又ハ其ノ
保護者ニ消毒其ノ他ノ豫防方法ヲ指示スヘシト」ゴザイマ
スノデ、丁度今御申聞ケノ豫防方法ヲ當局カラ豫防消毒
ノ途ヲ開イテ居リマス、先ヅ此法ニ書イテナクテモ、今江木
先生ノ御指示ノヤウナ事ハ、當然ヤラヌケレバナラヌノデアリ

マスカ、尙ホ第一條ノ第二項ニ此趣旨ヲ明カニシテ、醫師ト
病者ト相俟テ其目的ヲ全ウシタイ、醫師會ノ如キモ私共
ノ趣旨トシテハ同様デアリマシタ、此點ニ付テハ矢張り同様
ノ考ヲ有テ居リマス

○男爵高木兼寛君 大體ニ於テ此法案ノ内容ヲ考ヘマ
スト醫師ト病人トハ命令ニ絕對ノニ服從シナレバナラヌ、
之ニ背ケバ科料ニ處スル、斯ウ云フ事ニ解釋シテ宜イノダラ
ウト思フ、果シテ其通りデアリマスカ、明答ヲ得テ置キタイ、
次ニハ第一條ノ第二項ト、ソレカラ第八條トニ依テ見レ
バ、官廳ノ人ハ處分ニ合フコトハナイト云フノデアリマスガ、
官廳デハ好イ加減ノ事ヤデモ差支ナイ、便宜デアルト云
フノデスカ、是ハドウ云フ風ニ解釋シテ宜イノデアリマスガ、
官廳ガ自カラ命令ヲ出シテ、ソレヲ守テ居ナイト云フ事實
ノアルト云フコトハ澤山アルト思フ、コンナ事ヲ言タナラバ
誠ニ相濟マヌコトデアアルカモ知レヌガ、其事實ヲ見テ居ルト
云フコトヲ申スノデアアル、ソコデ官廳ノ方ハ義務ガ無イニ依
テ、制裁ガ何モ無イノカ、ソレカラ第八條ハアノ通り、第四條
ノ中デ見マス、官廳ハ義務モ何モ無イガ、官廳ガ命ジタ
者、即チ命ヲ受ケタ者ガ行ハザル時ニハ、命令ヲ用キザル
時ニハ罰スル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、自然醫者ト病
者ハ絕對ニ命令ニ服從ノ義務ガアル、否デモ應デモ從ハヌ
ケレバナラヌ、從ハナレバ罰金ヲ取ル、斯ウ云フ法規ニナ
テ居ルガ、官廳ノ方ハ寛カニ致シマシテ、唯ノ醫者並ニ病者
ノ方ハ必ズ此規定デ直グ罰スルト云フコトニ致シマスカ、
我々モサウ心得テ居リマス、官廳ハサウ云フ事ガ無イカラ、官
廳ノ手合ヒガ社會ニ毒ヲ流シテ居ルト考ヘテ居リマス、官
廳ノ方ハ今ノヤウニ法律ガ認メテ居ナイ、ソレ以外ノ者ハ絶
對ニ服從ノ義務ガアル如ク、此法律ハ見エルトデアリマス、
其類例ノ如キハ澤山アリマセウケレドモ、サウ云フ事柄ガア
リマスカラ、私ハ矢張り同様ニサウナスコトガ宜カラウト云
フ考ヲ有テ居リマスガ、併シ政府ノ立法ノ趣旨ハ、官廳ハ
公人ノ者デ民間ノ者トハ違フカラ、サウ云フ事ハシナイ、若
シソレハスルヤウナ事ガアレバ、官廳ニハ罰スル方法ガ無イノ
カ、ソレハ是マデ行ハレテ居ラヌト思フ、兎角ニ官廳ノ方ハヤ
リ方ガ寛ニナテ仕舞テ居ルハ、ナゼカト云フト、制裁ガ無イ
制裁ガ無イカラト云フコトデ濟ムノデアリマス、一體官廳ト
云フモノハソハンナモノデ、人民ニハ絕對服從ノ義務ヲ負ハセ
テ、官廳ノ方ハ好イ加減デ宜イ、サウ云フ事ハ無イ筈デアリ
マスガ、サウ云フヤウニ見エルト、尙ホ申シマス、醫者ト患者
ハ絕對ニ義務ガアル、官吏ハ背イテモ好イ加減ニ濟ンデ仕
舞フ、斯ウ云フ風ニ見エイト云フ、斯ウ云フ意味ヲ出來テ
居ルノデアリマセウカ、モウ一遍伺ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 醫師ト患者ガ絕對ノ義務
マスカ、尙ホ第一條ノ第二項ニ此趣旨ヲ明カニシテ、醫師ト
病者ト相俟テ其目的ヲ全ウシタイ、醫師會ノ如キモ私共
ノ趣旨トシテハ同様デアリマシタ、此點ニ付テハ矢張り同様
ノ考ヲ有テ居リマス

ヲ單リ負ウテ、官立ノ學校製造所ニハ絕對ノ義務ガ無イカ
ト申シマス、ソレハサウデナイノデアリマス、醫師ト患者
ハ制裁ヲ受ケテ義務ノ履行ヲスルコト云フコトガ規定シテ
ルノデアリマス、第八條ニ於キマシテハ、矢張り等シク官廳、
官立ノ學校製造所ニナリマス、第四條ノ第一項第三條
ノ規定ニ準ジ「トラホーム」豫防ニ關スル事項ヲ施行スヘシ
ト云フ、絕對ノ義務ヲ生ジテ居リマス、唯絕對ノ制裁ガ無
イノデアリマス、唯今ノ高木男爵ノ御問ニナリマシタ事、江
木先生ノ御問ニナリマシタ事ハ、此中ノ長官ニ對シテ制
裁ヲスルコト云フコトハ、是ハ他ニモサウ云フ例ガアリマセヌ
依テ、此方ニハ制裁ヲ課シマセヌカラ、ソレ故ニツルクナ
モ宜イカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマス、ソレハ心
得違ヒノ話デアリマス、決シテサウ云フ心得違ヒノナ
ヤウニ、官廳ニ於キマシテモ、官立ノ學校製造所ニ於キマ
シテモ、此法條ノ示ス所ニ依リマシテ、十分ニ此趣旨ノ徹底
ルヤウニ致シタイノデアリマス、ソレハ十分ニヤラヌケレバ
ナラヌト、私ノ方デハ考ヘテ居リマス、若シ官廳ノ方ハ制裁
ガ無イカラ構ハヌト云フト云フ油斷ガアテ、官廳ノ方面ノ
人ガ却テ「トラホーム」豫防ノ義務ヲ怠リ、其爲ニ豫防ニ不
徹底ノコトガアリマシタラバ、他ノ方面ニ於テ甚ダ可笑シ
イ結果ガ起ルノデアリマス、官廳、官立ノ學校製造所ハ、此
法條ノ示ス所ニ依テ飽マデモ範ヲ示スト云フコトニ付テ
「トラホーム」豫防ノ事モシナケレバナラヌト、斯ウ云フ風ノ考
テハ居リマス

○男爵高木兼寛君 サウ云フ御考デアレバ至極結構デア
リマス、官廳デ急タル場合等ハドウシテ御發見ニナリマ
セウカ、是ハ官廳ハ能クヤテ居ルケレドモ能クヤテ居ラヌ
コトガ起ルカモ知レマセヌ、ソレハドウナサルノデスカ、ソレヲ
放任シテ御置キニナレバ世間ハ見習フテ、官立ノ學校デハ
斯ウダ宜イ加減ニヤテ置ケバイ、サ、斯ウ云フコトガ自然ニ
起テ來ルヤウニナル、ソコデ官廳ニハ斯ウスルト云フ官廳
方面ニ對シテドウ云フ取締法ガ出來マスカ、ソレヲ伺フテ置
キタイ

○政府委員(杉山四郎君) 御尤モナ御質問ト心得マ
スガ、何レ此法ヲ施行シマスルニ付キマシテハ、ソレハ官衛
ニ衛生ノ委員ト云フヤウナ者デモ置キマスルカ致シマシテ、
此趣旨ノ徹底スルコトニ努メタイト云フ考ヲ有テ居リマ
ス、現在ニ於キマシテ成ルホド高木男爵ノ仰シヤル通り必
ズ官廳ニ於テ、例ヘバ清潔方法ノ如キ傳染病豫防ニ關スル
方法ノ如キ、或ハ遺漏ナキヲ保シ難イトハ考ヘテ居リマス、
デゴザイマス、依テ此法ヲ運用スル上ニ於キマシテモ、官廳
ハ自ラ其實行ノ上ニ付キ責任ヲ以テマシテ、其官衛ノ長ナ
ル者ガソレト最善ノ考慮ヲ加ヘ、注意ヲ拂フテ此法ノ趣旨

ヲ徹底セシムルコトニ努メルト云フ考ヲ有テ居リマス
○江木千之君 今高木男爵ヘノ御答ハ、官廳ノ長タル者
ガ其義務ヲ怠ラヌトキハドウウカト云フコトデアラガ、ソレニハ義務ヲ
怠ラヌヤウニスル、ト斯ウ云フデケノ御答ダガ、ソレハ答ニナ
ラヌ、官吏ト云フモノハ果シテ神聖ナモノダ、神樣ノヤウナモ
ノダ、ト云フナラ無論サウデアラ、併シ隨分九州方面ナドヲ
見テモ詰ラヌ官吏ノ有様デアラ、隨分今日ノ官吏ハ官紀振
肅ヲ最モ必要トスル時代デアラ、官廳ハ神聖ナモノダト云フ
話ナラバ、我ハ此法ヲ議スルコトガ出來ハヌ、官吏ガ責ヲ怠
タトキ、彼ノ懲戒例ト云フモノハ何ノ爲デアラカ、官吏ガ
職務ヲ怠ラヌトキノ制裁ガ官吏懲戒例デアラ、官吏懲戒例
デアレドモ官吏ハ唯聖人ミタヤウナ人ガ官吏ニナテ居ルカラ
法ヲ犯スト云フヤウナコトハナイ、ト云フヤウナソナコトヲ
説明セラレテモソレハ今日子供デモ信用シナナ、官廳ノ怠
タトキハドウウカト云フコトニ付テ如何ナル制裁ガアル
カ、詰リ國務大臣マデ急タル議會ノ監視ト云フコトガア
ラウガ、其他ノ其下ニ屬シタ諸官廳ナリ學校長、病院長ナ
ドガ其職務ヲ盡サヌト云フコトハ、高木男爵ノ言ハレルヤウ
ニ隨分横柄ニヤテ居ル所ガアル、サウ云フヤウナ責ヲ盡サ
ヌトキハドウウカト云フ御尋デアラ

○政府委員(杉山四郎君) 如何ニモ高木男爵ニ對シ
マシテ答辯ガ十分デナカッタ爲ニ江木先生ヨリモ質問ガアリ
マシタガ、御答ヘ申上ゲマス、是ハソレト上官下官ノ關係
モアリマスルコトデゴザイマス、訓令ノ形式ニ於テ其方
法ヲ指示シマシテ、而シテ訓令ニ若シ違反スル者ガアルナラ
バ固ヨリ一般官吏ノ懲戒例ヲ以テシ、其訓令ノ趣旨ヲ徹
底スルコトヲ期スルハ固ヨリコト考ヘテ居リマス、官吏ハ
必ズ皆此法條ヲ悉ク履行スル者トシ、申シマシタコトガア
レバ、ソレハ官吏ハ本來サウ云フモノデアルト御承知ヲ願ヒ
タイ、併シ訓令ヲ發シマシテモ其訓令ヲ守ラヌ不心得ノ者
ガアリマスレバ、ソレハ一應懲戒ノ法文ニ依テ之ヲ處置ス
ルノ外ナイノデゴザイマス

○北里柴三郎君 先刻カラ江木先生、高木男爵ノ御尋
ネト同ジナンデゴザイマスガ、此第九條ト云フモノハ先刻ノ
當局者ノ御答辯デハ第一條ニ斯ウ云フコトヲシタ以上ハ
第九條ト云フモノ、制裁ガ無ケレバナラヌ、ト斯ウ云フ御話
ノヤウニ承ハリマシタガ、此第九條ト云フモノハ法文上必ズ
第一條ニ斯ウ云フモノガアレバ拵ヘテ置カケレバナラヌノ
デゴザイマス、チヨット其事ヲ伺ヒマス

○政府委員(杉山四郎君) 是ハ立法技術ニ屬シマス
ル問題デゴザイマスガ、先ツ此法ガ一定ノ義務ヲ以テマシテ
ソレヲ履行セムトスル場合ニハ、ドウシテモ制裁ヲ附ケル
コトヲ以テ立前トシテ居リマス、是モ矢張り其趣旨ニ

他ナラヌノデアリマス
○北里柴三郎君 サウスルト無クテモ宜シノデスカ
○政府委員(杉山四郎君) 無ケレバ強行スルト云フ譯
ニハ行キマセヌ、矢張り制裁ヲ附シテ此法條ノ行ハル、コト
ヲ求ムルノデアリマス、デ有ルト無イトハ違ヒマスガ、是ハ或ハ意
見ニナルカモ知リマセヌガ、此箇條ガアル爲ニ今ノ先刻カラ
江木君ノ仰セニナル通り醫者ト云フモノハ餘ホド下等視シ
テ居ルト云フ嫌モアルノデ、我、ノ方ノ醫師社會ニ於テモ是
ハ實ハ怪シカラヌ法文ト考ヘテ居ル位ナコトデアリマスルカ
ラシテ、削除スルト云フコトニナテモ別ニ當局者ハソレニ何
モアリマセヌデゴザイマス

○政府委員(杉山四郎君) 御答ヘ申シマスガ、是ハ實
ハ「トラホーム」豫防法ノミデハゴザイマセヌ、多クノ他ノ衛生
關係ノ法令ニ於キマシテモ、例ヘバ傳染病豫防法ニ於キマ
シテモ、御尋ネノ趣旨ノヤウナ義務ヲ以テマシテ、其義務ノ
違反者ニ對スル所ノ制裁ヲ附シテ居リマス、デゴザイマス

○北里柴三郎君 ソレハ十分ニテ居リマスガ、急性ノ傳染病
デ例ヘバ「コレラ」ト云フ「ベスト」ダト云フモノハ、一朝其届出
ヲ怠ラヌトカ何ト云フヤウナコトデハ由々數キ大事ヲ起ス
コトデゴザイマス、今日ノ傳染病豫防法ノヤウニサウ云
フ制裁ガナケレバナラヌコトモアリマセウケレドモ、「トラホー
ム」ト云フ結果トカ云フヤウナモノハ、先刻御話ノアツタ通りニ
千萬人モアルト云フ患者デ、是ガ一人ヤ二人誤テ間違
所ガ非常ノ害毒ヲ及ボスト云フ譯ノモノデハナイカト思ヒマ
スルカラ、他ノ急性ノ傳染病ニハサウ云フコトガアルカラ
ウ云フモノニモ必ズ無ケレバナラヌト云フコトハ、所謂法律
ノ技術ノ方ニ互テ何ト云フ話ナラバ卒ザ知ラヌ、一向削
テモ差支ナイヤウニ考ヘラレバ、病氣ノ輕重ニ依テモ是ハ
多少ノ斟酌ハアテ宜イト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ序ニ何
デアリマスガ、先刻官廳云々ノ話ガ出マシタガ、斯ウ云フ場
合ガ間々アル、私等ガ實際ヤテ居ルノ二間々アリマスガ、官
廳ノ……即チ官立ノ醫院デ診斷ヲシテ其診斷ガ誤テ居ル
所ガアル、サウ云フ時分ニハ……所謂醫者ノ誤診ニハ……詰
リ其初メニ官廳ノ病院デ診斷ヲシテサウシテ「トラホーム」ナ
ンカ「トラホーム」デナイト云ウタトキニ、今度ハ市中ノ開業
醫者ニ持テ來タトキニ開業醫者ガ是ハ「トラホーム」ダト斯
ウ云フ時分ニハ、其官廳ノ醫者ハドウナルカ、誤診ノ點デ唯
責任ヲ有タセラゲニナルカ

○政府委員(杉山四郎君) 御質問ノ如キトキニハ素ヨ
リ官廳ノ醫師ニハ法律ノ上ノ制裁ハアリマセヌカラ、誤診ニ
對スル職務執行ノ怠慢ト云フコトニナリマス、若シソレガ官
廳ノ醫者デ……官立病院ノ醫者デアリマスラバ、官廳ノ

所謂官立病院ノ醫者ノ職務執行ノ怠慢トシテ一般ノ服
務規律ノ明文ニ據ルノ外ハナイノデアリマス

○北里柴三郎君 ソレダケニシテ意見ハ又...

○江木千之君 外ノ二法案ニ付テモ段々質問ガアリマス
ガ、今日ハ四時後モ御開キデアリマスカ此邊デ...

○男爵高木兼寛君 アトノ二這入ルト途中デ止メルコトモ
出来ヌヤウニナリマセウカラ、私ハ今日ハ是デ休ンデハ、ドウ
カト思ヒマス

○委員長(侯爵花山院親家君) ソレデハ此邊デ止メテ置
キマシテ、尙ホ後日開キタイト存ジマス

○北里柴三郎君 チヨット伺ヒマス、「トラホーム」ハ是デ質
問ヲ了ッタノデアリマスカ

○委員長(侯爵花山院親家君) イエ、サウデハアリマセヌ
○北里柴三郎君 ソレデハ此次ニ他ノ精神病ナリ、結核
ノ方ニ移リマシテ質問ヲシテ...

○委員長(侯爵花山院親家君) サウデス

○江木千之君 委員長カ先刻御宣告ニナリマシタガ、精
神病ノ方ト結核ノ方ハ、質問ヲ此次ニ致シテ宜シウゴザイ
マスカ

○委員長(侯爵花山院親家君) 宜シウゴザイマス、ソレデ
ハ今日ハ是デ散會イタシマス

午後三時四十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長

侯爵花山院 親家君

副委員長

北里 柴三郎君

委員

子爵堤

雄長君

子爵米倉

昌達君

男爵高木

兼寛君

江木

千之君

男爵岩佐

新君

永田

秀次郎君

大森

慶次郎君

政府委員

内務省衛生局長

杉山 四五郎君

大正八年三月十六日印刷

大正八年三月十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局